



「つながりワーカー」は、地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人材です。中央共同募金会では、つながりワーカーを養成する講座・研修の開催と、その実践として地域での孤立に気づき、つながり、見守る活動（地域でのサロン・見守り活動・相談支援等の活動）に対して助成を行っています。詳しくは助成応募サイトをご覧ください。

### 研修の様子をご紹介します

## 大阪市天王寺区社会福祉協議会

（大阪府大阪市天王寺区）

大阪市天王寺区は、ターミナル駅である天王寺駅を中心に、アクセスの良さと文教地区としての発展から人気が高まり、今後も人口の増加が予測されているエリアです。

天王寺区では、独居高齢者等見守りサポーター事業を天王寺区社会福祉協議会に委託しています。2023年3月16日（火）に開催したつながりワーカー養成研修は、日ごろから見守り活動に取り組んでいる方に区社会福祉協議会が声をかけて開催、33人



天王寺区社会福祉協議会  
水戸由美子さん

が参加しました。区社会福祉協議会天王寺区見守り相談室の見守り支援ネットワークワーカー、水戸由美子さんは、研修の動機を「熱心に活動をしていただけていますが、『どのように声かけをしたらいいか』『どこに相談すればいいか』という相談をいただくことがあります。研修を受けていただき、そうしたことを学んでいただきたい」と話します。

開会に先立ち、天王寺区役所保健福祉課福祉担当課長代理の高橋幸子さんは、「この研修は、見守り活動をされている人に重要なテーマと認識しています。見守り、気づきの力をパワーアップして持ち帰ってほしい」と参加者にエールを送りました。

ワークブックのイラストを見て考えるワークでは、「家に閉じこもっている高齢者の理由を、『お友だちがいないからかな』と思っていたけれど、あなたの言うような『骨折してしまったから外に出られない』ということも考えられるわね」という意見が交わされたり、「テレビのニュースで見る事件の背景には、もしかしたらこういうことがあるのかもしれないと感じた」という人もいました。さらに、「声かけを嫌がらずに見守りを受け入れてもらうためにはどんなことが必要なのか」ということを話し合うグループもありました。

桃丘地区社会福祉協議会会長の北川サチ子さんは、「地域ボランティアの数はまだまだ足りていない」と言いますが、各地区で活発な活動が行われているからこそその思いです。

水戸さんは、「参加者からも好評だったので、今回は都合が合わなかった人のためにも再度研修の機会をつくれたら」と抱負を述べてくれました。



職員も加わりワークを進める



認定証授与式

### DATA

大阪市天王寺区（2023年3月1日現在）  
人 口 84,446人  
世 帯 数 44,026世帯  
高齢化率 19.6%  
地区社会福祉協議会 9協議会

### 編集・発行

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル 1階  
TEL 022-727-8730 FAX 022-727-8737

「つながりワーカー」を養成する教材ができました！

URL <https://clckyobo2022.wixsite.com/kyobo>

